

2008 年

9 月 23 日（火曜日） - 山陰の力 -

本日、「山陰海岸ジオパーク推進協議会府県並びに市町村代表者会議」という、いかめしい名称ですが大切な会議が、鳥取県岩美町役場で開催されました。これは、当市をはじめ豊岡市、香美町、新温泉町、岩美町、鳥取市並びに京都府、兵庫県、鳥取県の 3 府県 3 市 3 町により本年 5 月、「山陰海岸ジオパーク構想」を策定し、わが国初の「世界ジオパーク」（いわば地質関係の世界公園）（注：下記参照）の認定を目指して現在精力的な取組みを進めており、日本ジオパーク選定委員会による本年秋の選定を前に、地元としての最終段階での詰めの調整と相談を行いました。

「山陰海岸ジオパーク構想」とは、本市から鳥取市までの山陰海岸には日本列島がユーラシア大陸から分離して創成された時代の岩石や地質が多様に確認される貴重な特色があり、これを日本大、世界大の教育活動や観光振興に活かしていこうとするものです。ジオパークを中心とする教育見学や観光の受入れ、域内外の交流は「ジオツーリズム」と呼ばれますが、山陰海岸ジオツーリズムは壮大なスケールで交流を促進する原動力となり、今後とも、山陰海岸ジオパーク構想の世界ジオパークへの登録とジオツーリズムの具体的な推進に向け、市域や府県域を越えて、官民を越えて 3 府県にまたがる地域が一つになって力強く連携を進めてまいりたいと思っています。

また、山陰海岸ジオパークの取組みは、前出のとおり 3 府県 3 市 3 町が市町域・府県域を越えて一体となって取組みを進めており、このことは、来るべき地方主権の時代の中で想定される地方発の主体的な枠組みをあたかも先取りするようなものであり、連携を深め地方の時代を象徴する新しい時代の地方活性化の実をあげていきたいと思っています。

そして何と言っても、ジオパークの舞台である山陰は雨にも恵まれ、その徳はいわば水の徳。器に素直で、自ら汚れを引き寄せ他に清浄・清涼を与え、また全ての生長を育む。水と時の力で生長へと静かに醸成を育んでいく。そして、山陰の宝は地の宝。日本列島が創成された列島の記憶が鮮明に刻まれ、日本列島の曙の物語が雄弁に語られる宝の地。山陰の力は曙の力。かつて日本の玄関口は大陸に面する山陰だ。山陰は日本の曙を迎えた力。そして今、長く山陰の徳と力で静かに醸成されてきた山陰の宝が、地球環境の時代が曙を迎える中で、再びその時を得て、豊かに芳香を放ち始める。

（注）「世界ジオパーク」とは、ユネスコが推奨する世界地質公園のことであり、世界的な地質遺産を地質資産保全と地球科学普及に利用するとともに、観光の資源とするジオツーリズムを通じて地域社会の活性化を目指す。現在、主に欧州と中国で 50 箇所

上認定されており、日本は本年秋に第一号の申請をすべく手続き・審査中。「山陰海岸ジオパーク構想」は、京丹後市から鳥取市までの山陰海岸の領域で関係機関による協議会が構成され、日本列島が創生された時代の岩石、地質の多様に確認できる貴重な特色が傑出している。具体的な地質遺産としては、地磁気の逆転が発見された場所でもある"玄武洞"、世界の砂漠化研究の中心でもある国指定天然記念物の"鳥取砂丘"、当市では潟湖の"久美浜湾"や"兜山"、また活断層との用語が日本で初めて用いられた天然記念物「郷村断層」など、19の遺産はじめ「琴引浜」等貴重な自然景観等が特筆されている。世界ジオパークに認定されれば、国内外への積極的なプロモーション等を通じ新たな層の入込客・観光客等との交流が大いに期待できる。